

ライフレンズ導入による 新しい視点での運用方法について

エレガーノ摩耶 花ステーション

○工藤一城

松浦克宜

竹本雅彦

施設紹介



ELEGANO

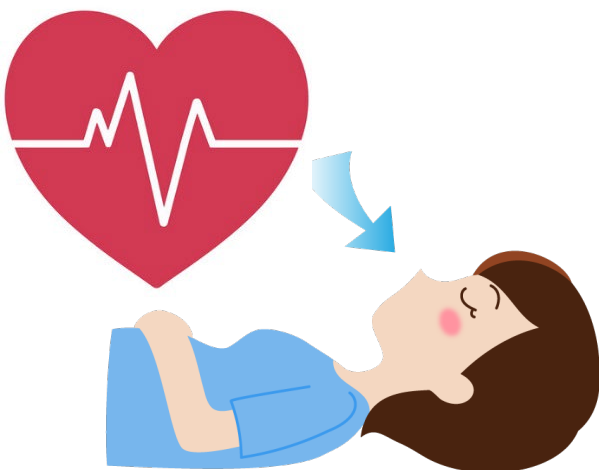
エレガーノ 摩耶

はじめに

労働環境の改善を目的

ライフレンズ

呼吸や脈拍



居室の様子



PCや端末で確認



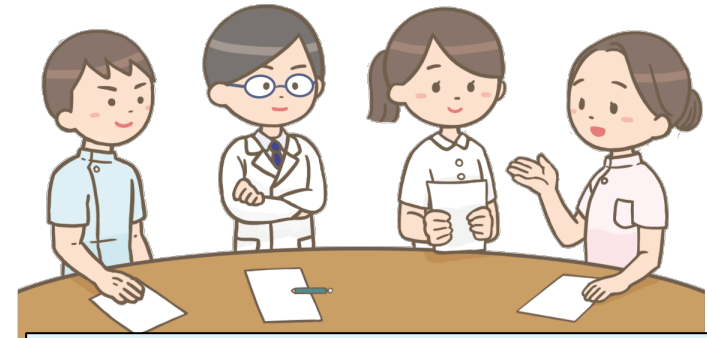
事例研究の動機



ライフレンス
導入



現場でどのよ
うに使用？



スタッフを
対象に調査



運用効果への
期待を研究



新しい活用方法

研究方法

2024年 8月～10月

① 1回目のアンケート
入居者・スタッフへの効果
使用状況、今後の期待、自由意見

② 情報共有シートを作成・配布

③ 2回目のアンケート
使用状況、今後の期待、自由意見

倫理的配慮

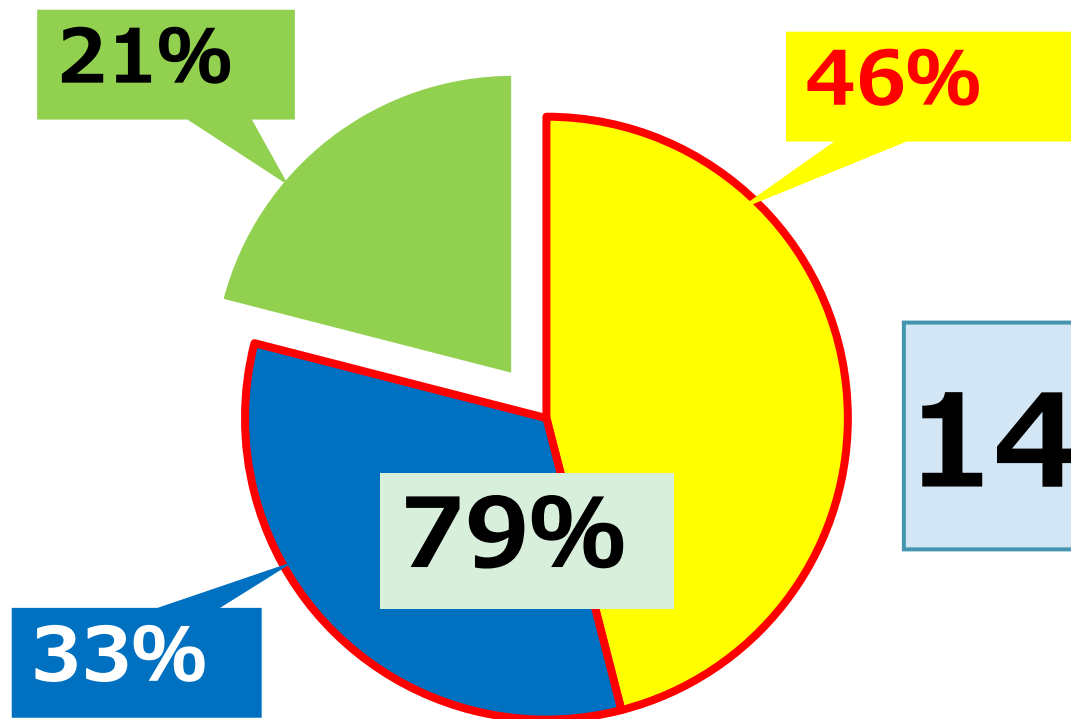
本研究では、参加者は不利益なく、自由に協力を辞退でき、個人情報 は匿名化して厳重に管理している。

また研究公表時も個人が特定されないよう配慮し、研究目的以外で情報を使用しないことを全社員に書面で説明し、同意を得た。

結果・考察

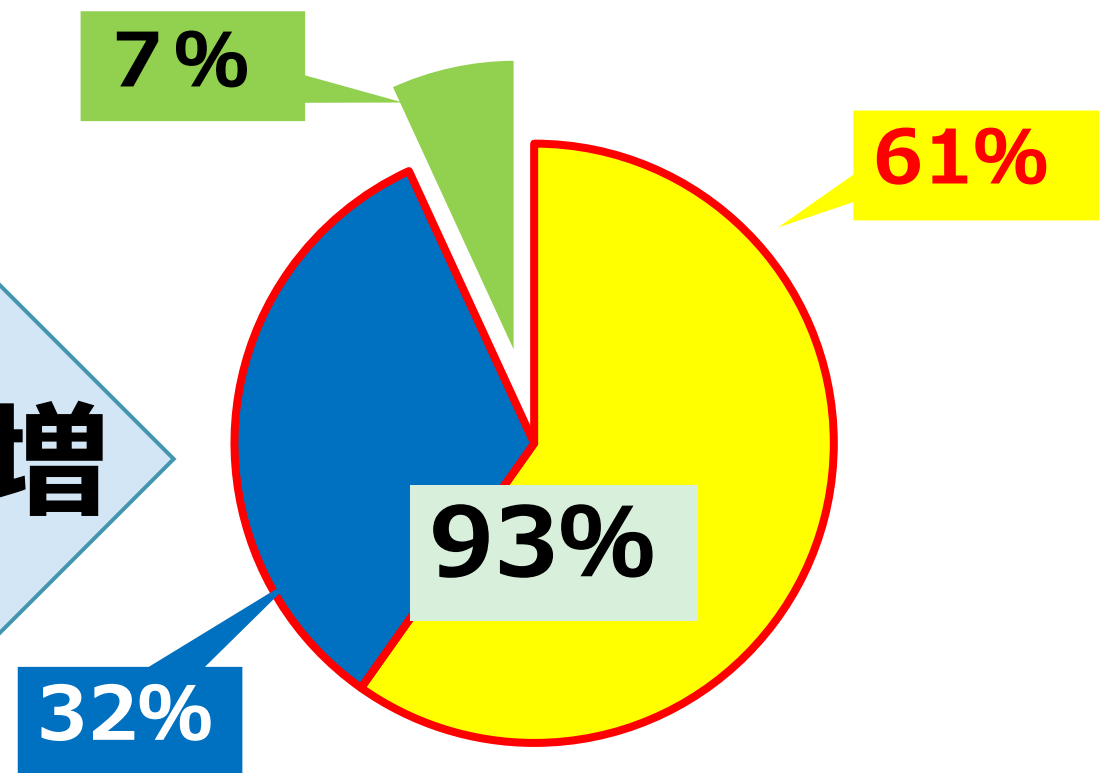
ライフレンズの使用状況について

ライフレンズの使用率 1回目



- 日に頻回
- 日に1回
- 使用せず・殆ど使用しない

ライフレンズの使用率 2回目



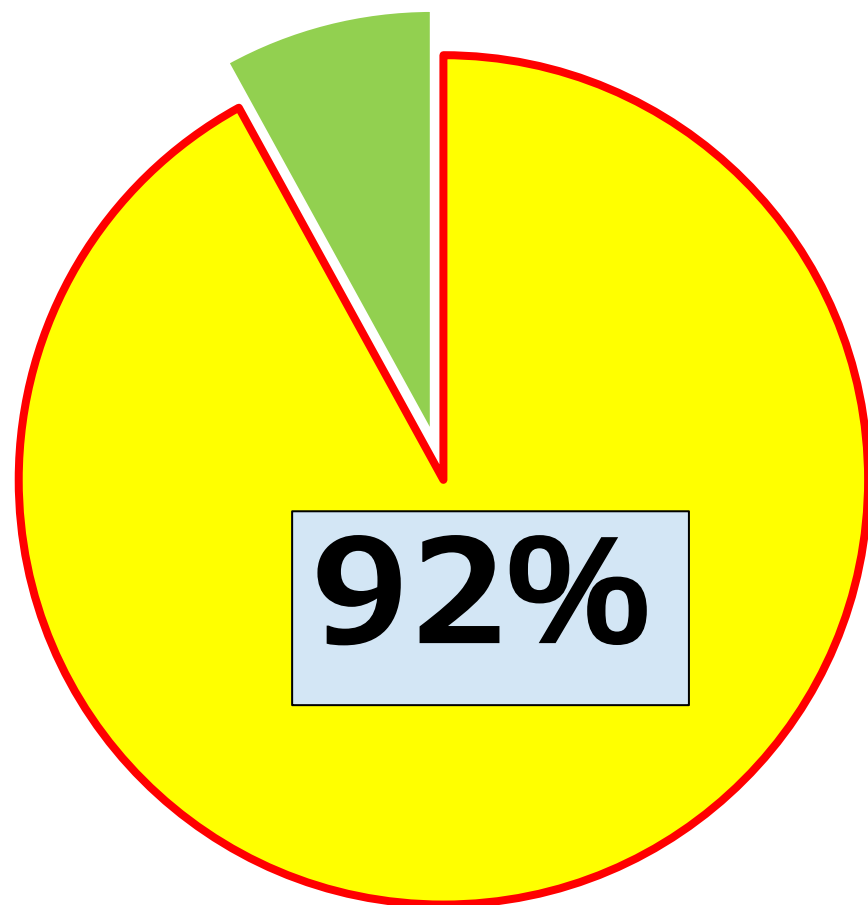
- 日に頻回
- 日に1回
- 使用せず・殆ど使用しない

14%増

結果・考察

入居者への効果について

入居者への効果



- 効果があった 92%
- 効果がなかった 8%

結果・考察

プライバシーへの配慮について



一人が好き



状態確認



結果・考察

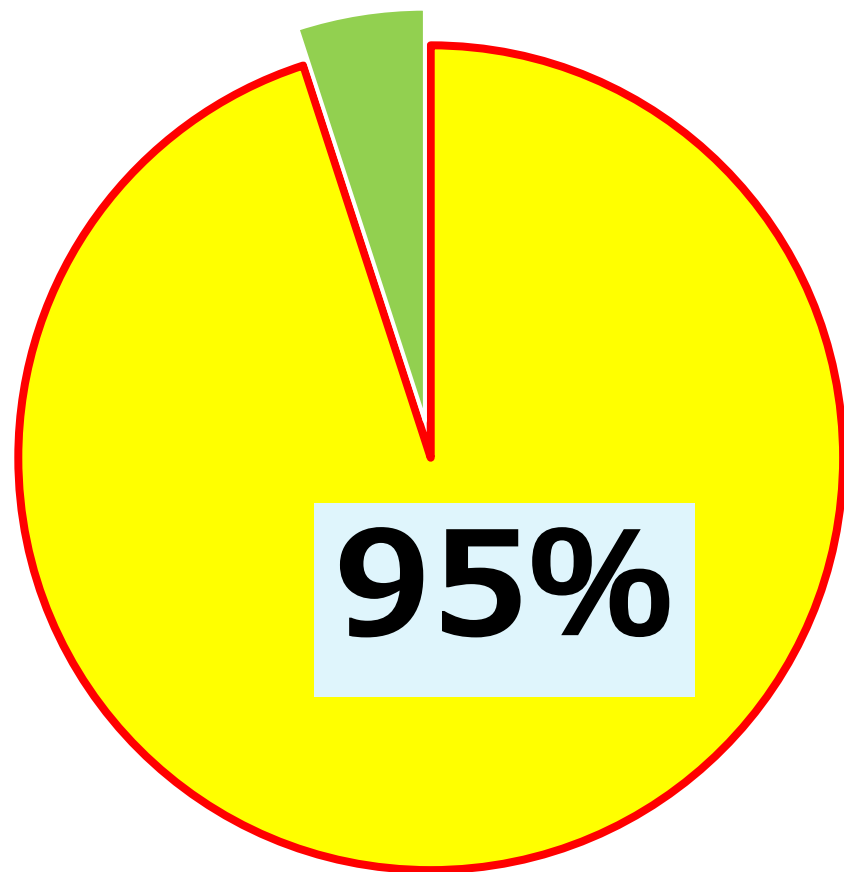
プライバシーへの配慮について



結果・考察

ケアスタッフへの効果について

ケアスタッフへの効果



■ 効果があった 95%

■ 効果がなかった 5%

結果・考察

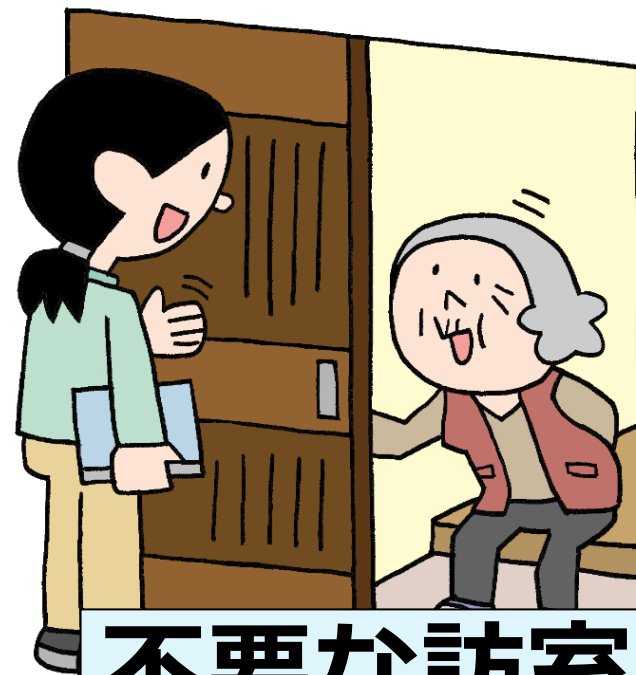
巡回業務の効果に対する意見



訪室せず
状況確認



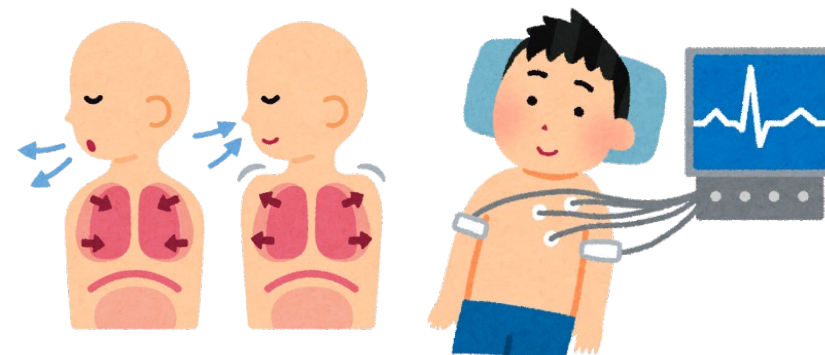
訪室回数
の削減



不要な訪室
の減少

結果・考察

遠隔巡視による負担軽減

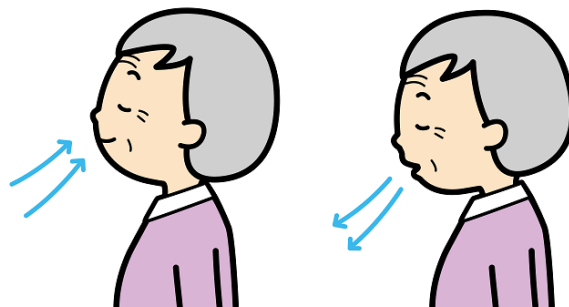


結果・考察

体調不良の早期発見への活用①



急な発熱を
繰り返す



呼吸数↑↑



脈拍数↑↑



発熱など
予測・対応

結果・考察

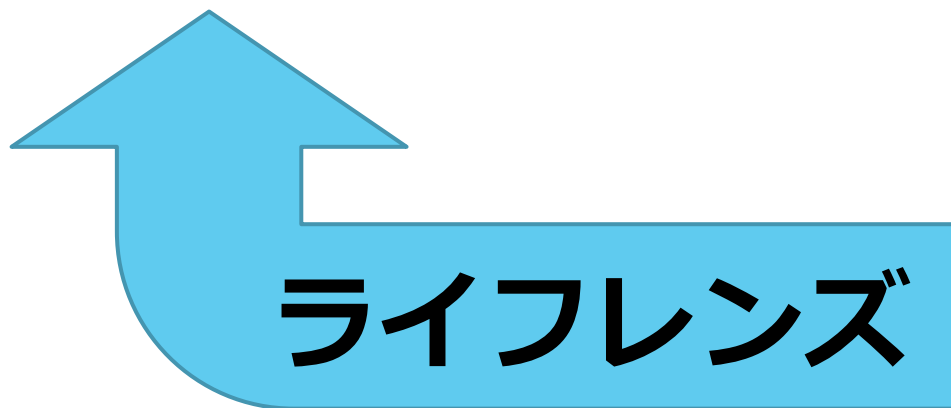
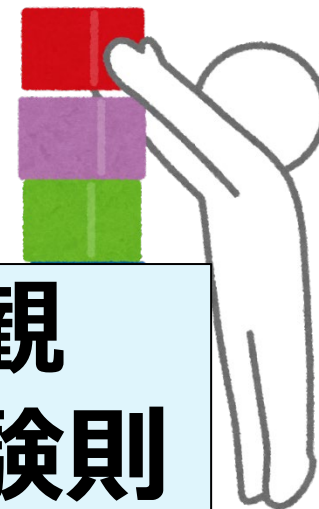
体調不良の早期発見への活用②



自分の状態を
伝えられない



スタッフの主観
これまでの経験則

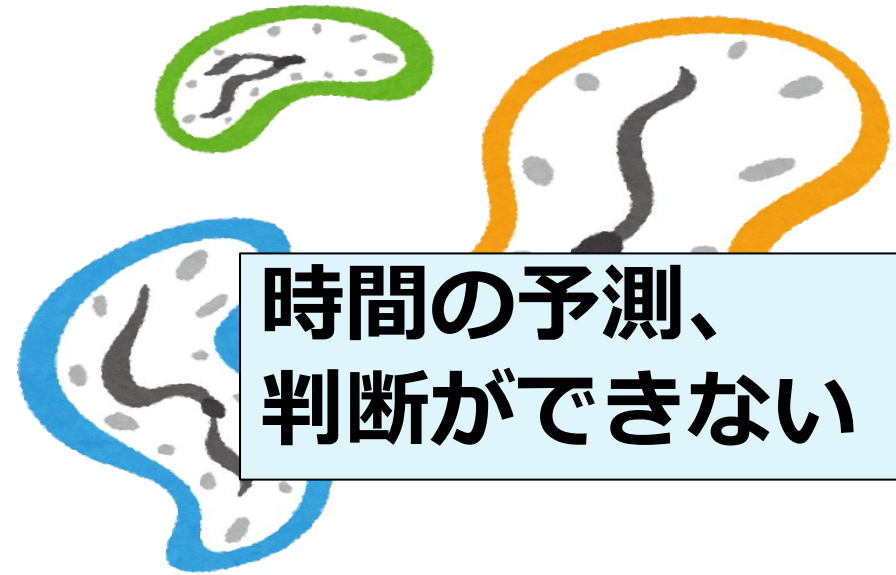


情報分析

発熱に対応

結果・考察

ターミナル期の精神的負担



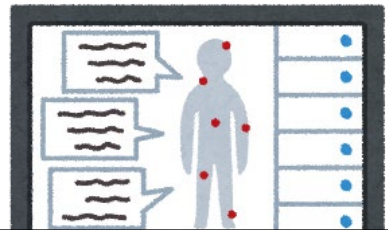
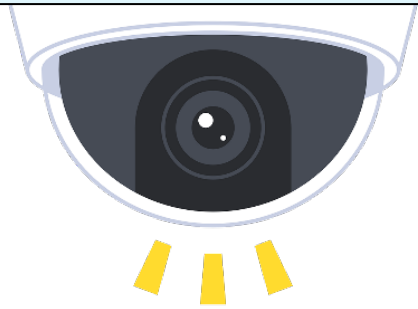
看取りに対する
精神的負担

参考文献『介護職員の看取りに対する意識と認識に影響する要因混合－研究法を用いた探索的研究－』より

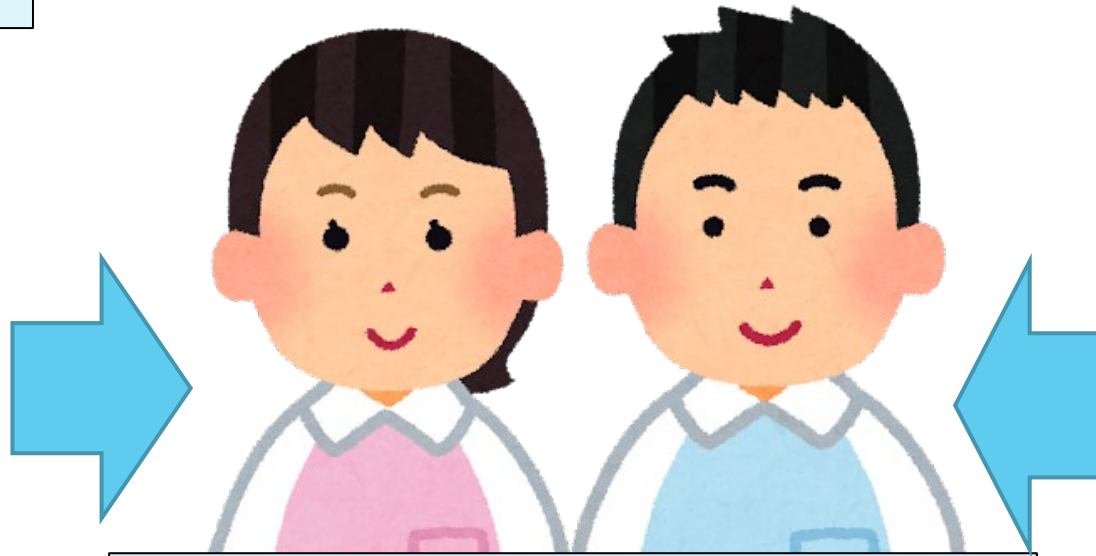
結果・考察

ターミナル期の精神的負担軽減②

映像センサー



バイタル
アラート



スタッフへの効果

巡回まで
判断できない



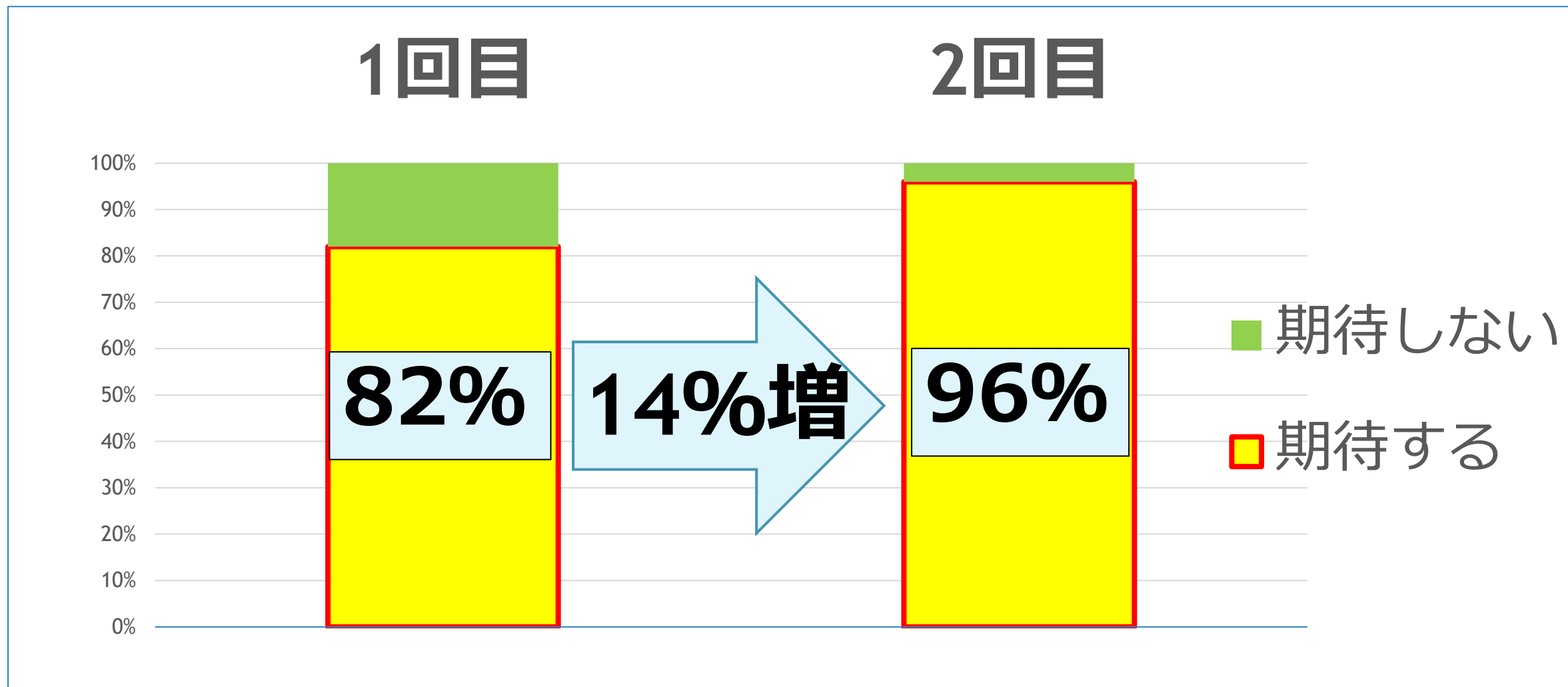
事前に判明

精神的負担の軽減に効果

結果・考察

ライフレンズへの期待度の変化

ライフレンズへの今後の期待



結果・考察

感染対策での活用方法について

業務の改善に期待

感染者との接触
都度の消毒
ガウンテクニック

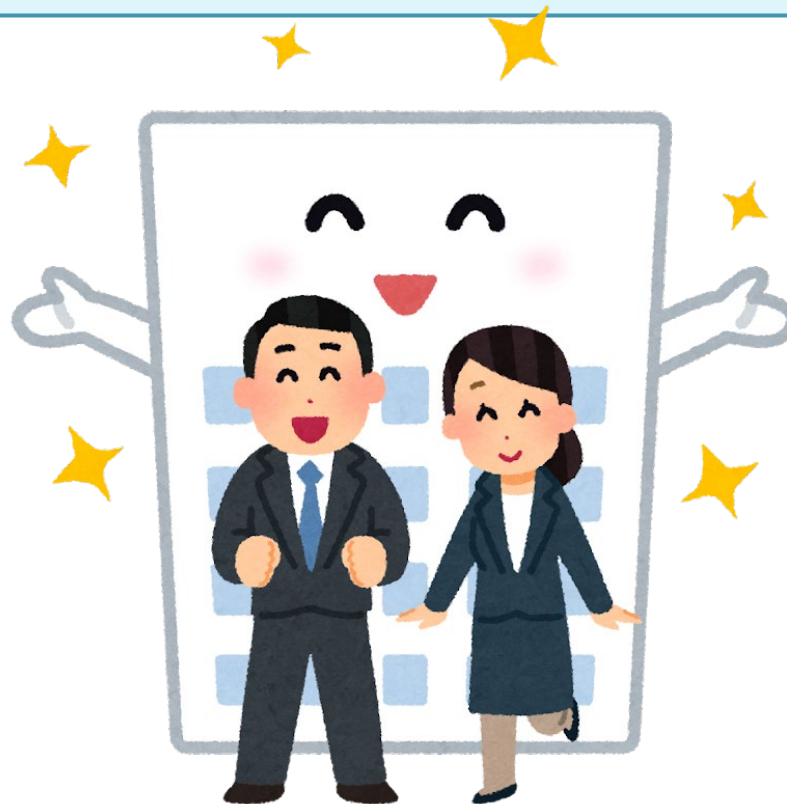
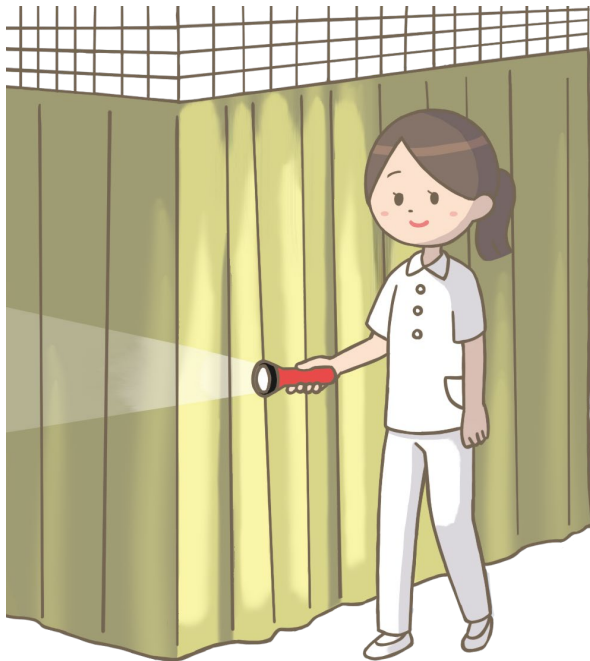
最低限の接触
コストの削減

結論

業務負担の軽減

今後も情報の共有

生活の質の向上



ご清聴ありがとうございました